



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3668-6811

平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,235	△4.1	384	△31.8	457	△27.8	271	△26.9
24年3月期第2四半期	8,589	3.1	563	4.0	633	2.6	371	108.5

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 89百万円 (△74.1%) 24年3月期第2四半期 347百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.94	—
24年3月期第2四半期	5.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	19,477	14,722	75.6	213.50
24年3月期	20,178	14,771	73.2	214.19

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 14,722百万円 24年3月期 14,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
25年3月期	—	1.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,900	1.2	900	△4.8	1,000	△8.9	500	△20.4	7.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示を参照してください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	69,774,401 株	24年3月期	69,774,401 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	813,358 株	24年3月期	811,825 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	68,961,826 株	24年3月期2Q	69,214,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、昨年の東日本大震災からの復興需要などで緩やかに回復する兆しが見られ、猛暑による飲料や夏物衣料などが好調ではあったものの、電気料金の引上げや消費税増税に対する懸念、また、欧州の財政不安など世界景気の更なる下振れリスクへの警戒感などから、先行きが依然不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、消費者の低価格志向に対応する小売業界の低価格路線への動きが一層加速し、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは、「安全・安心・信頼」できる新鮮な価値ある商品の提供と小売・卸売業との連携を強化し、ソース市場の拡大を図ってまいりました。

当社グループの家庭用商品につきましては、今年8月に発売した新商品「ブルドックうまソース300ml」のテレビCMの投入や雑誌とのタイアップ企画などの販促活動を通して、かけるのはもちろん、炒めて、煮て、焼いて、調理して美味しいまったく新しい画期的な万能調味料を主力商品に育てるべく、ソースの用途訴求に積極的に取り組みました。また、ブルドックソースの主力商品である「ウスターソース」「中濃ソース」「とんかつソース」のパッケージを、創業110周年を迎えるのを機に刷新し、伝統と新しさを兼ね備えたデザインにリニューアルを行いました。季節商材としては「にら鍋スープ600g」を追加し、これまでの「ねぎしゃぶ鍋スープ600g」「きのこづくし鍋スープ600g」とともに旬の食材のおいしさを活かした商品の提供に努めてまいりました。

イカリソースにおいては、「かけずに、まぜまぜしたこ焼きソース ピザ味170・コーンポタージュ味170・塩味170」、「かける甘酢あんかけソース300」「かける和風あんかけソース290」を新発売し、新たな需要の喚起を図ってまいりました。また、食品小売業向けの販促企画を実施し、売上拡大を目指してまいりました。

業務用商品では、スーパーマーケット向けに中食やお弁当など惣菜、コンビニエンスストアのレジ周り商品のメニュー提案を強化してまいりました。また、原料加工向け商品が堅調で、コラボレーション企画商品の発売など顧客ニーズに対応した商品の開発に意欲的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、対前年同期比3億5千3百万円減少し、82億3千5百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

営業利益におきましては、経営全般にわたる徹底した効率化等を実施してまいりましたが、対前年同期比1億7千9百万円減少し、3億8千4百万円（前年同期比31.8%減）、経常利益におきましては、対前年同期比1億7千5百万円減少し、4億5千7百万円（前年同期比27.8%減）、四半期純利益におきましては、対前年同期比9千9百万円減少し、2億7千1百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億1百万円減少し、194億7千7百万円となりました。主なものは、流動資産では、現金及び預金が2億2千万円減少し、固定資産においては、投資有価証券が4億2千万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億5千3百万円減少し、47億5千4百万円となりました。主なものは、流動負債ではその他に含まれる未払金が3億2千万円減少し、固定負債においては、長期借入金が3億1千万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4千8百万円減少し、147億2千2百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金1億8千1百万円の減少などによるものです。これにより自己資本比率は、75.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億5百万円減少し、24億2千8百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億2千5百万円の収入（前年同期は、5億5千1百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益4億1千5百万円及び減価償却費2億5千5百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億9千1百万円の支出（前年同期は、2億6千1百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2億8千7百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億3千9百万円の支出（前年同期は、4億7千9百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出3億1千万円及び配当金の支払額1億2千7百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,658	2,438
受取手形及び売掛金	4,442	4,516
商品及び製品	443	479
原材料及び貯蔵品	84	86
仕掛品	27	24
繰延税金資産	211	211
その他	57	73
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	7,925	7,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,167	2,090
機械装置及び運搬具（純額）	1,147	1,011
土地	2,711	2,711
その他（純額）	62	78
有形固定資産合計	6,089	5,892
無形固定資産	57	50
投資その他の資産		
投資有価証券	5,486	5,066
繰延税金資産	79	85
その他	575	590
貸倒引当金	△35	△38
投資その他の資産合計	6,106	5,704
固定資産合計	12,253	11,647
資産合計	20,178	19,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754	1,683
1年内返済予定の長期借入金	310	310
未払法人税等	21	43
未払費用	953	938
賞与引当金	189	181
その他	402	91
流動負債合計	3,631	3,248
固定負債		
長期借入金	780	470
退職給付引当金	810	832
長期未払金	166	166
その他	18	36
固定負債合計	1,775	1,505
負債合計	5,407	4,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,525	11,659
自己株式	△434	△434
株主資本合計	14,699	14,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	△110
その他の包括利益累計額合計	71	△110
純資産合計	14,771	14,722
負債純資産合計	20,178	19,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,589	8,235
売上原価	4,054	3,971
売上総利益	4,535	4,264
販売費及び一般管理費	3,971	3,880
営業利益	563	384
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	79	75
投資有価証券売却益	—	9
その他	4	2
営業外収益合計	84	87
営業外費用		
支払利息	14	11
その他	0	3
営業外費用合計	15	15
経常利益	633	457
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	19
特別利益合計	0	19
特別損失		
固定資産除却損	9	2
投資有価証券評価損	20	58
災害による損失	28	—
その他	3	0
特別損失合計	61	61
税金等調整前四半期純利益	571	415
法人税、住民税及び事業税	200	143
法人税等合計	200	143
少数株主損益調整前四半期純利益	371	271
少数株主利益	—	—
四半期純利益	371	271

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	371	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△181
その他の包括利益合計	△24	△181
四半期包括利益	347	89
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	347	89
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	571	415
減価償却費	269	255
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	29	21
受取利息及び受取配当金	△80	△75
支払利息	14	11
固定資産除売却損益 (△は益)	9	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△28
投資有価証券評価損益 (△は益)	20	58
売上債権の増減額 (△は増加)	109	△73
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△71	△34
仕入債務の増減額 (△は減少)	△170	△70
未払費用の増減額 (△は減少)	△141	△0
その他	△29	△83
小計	520	391
利息及び配当金の受取額	80	75
利息の支払額	△32	△25
法人税等の支払額	△26	△27
法人税等の還付額	9	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	551	425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	15
有形固定資産の取得による支出	△216	△287
有形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△44	△11
投資有価証券の売却等による収入	1	109
その他	△1	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	△191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△310	△310
自己株式の取得による支出	△40	△0
配当金の支払額	△128	△127
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△479	△439
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△190	△205
現金及び現金同等物の期首残高	2,350	2,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,159	2,428

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。